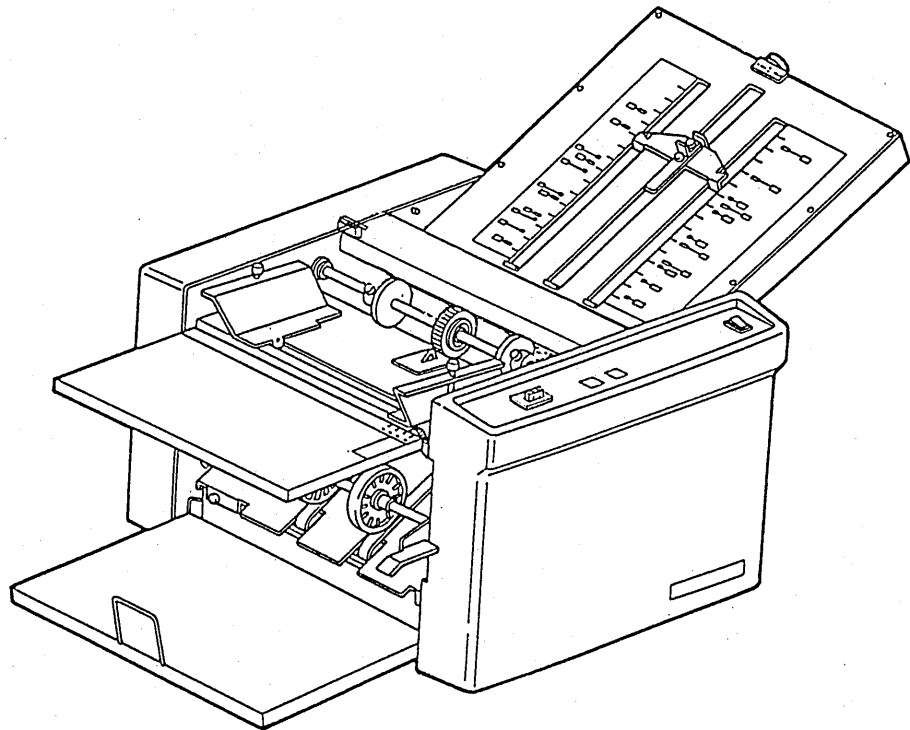


取扱説明書

紙折機

F-25 / F-30C

(カウンター付)



(F-30C)

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

- ・ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ・「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。






Ⓞ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上の注意

警告	
	<p>1 アース接続してください。アース接続がされないで漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。</p>
	<p>2 交流100V以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>3 この機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合、感電のおそれがあります。</p>
	<p>4 この機器のカバーは外さないでください。感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>5 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災感電のおそれがあります。</p>
	<p>6 この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>7 発熱してたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>8 異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>9 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。</p>

 注 意

	1 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりけがの原因となります。
	2 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となります。
	3 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災、感電の原因となります。
	4 本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となります。
	5 連休等で長時間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。

特に「△警告」（2ページ）「△注意」（3ページ）は必ずお読みの上、正しくお使いください。

この『取扱説明書』は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて、大切に保管してください。



この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、『取扱説明書』の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの『取扱説明書』を混同して使用しないでください。

目次

1. お使いになる前に	5
(1)使用方法・使用場所の注意	
(2)付属品の種類・数量確認	
(3)各部の名称	
2. ご使用方法	7
1. 準備	
(1)テーブル1・2のセットのしかた	
(2)用紙セットのしかた	
(3)排紙ローラーのセットのしかた	
(4)排紙ストッパーのセットのしかた	
2. 操作方法	8
(1)電源を入れます	
(2)折り位置をセットします	
(3)試し折りをします	
(4)折り位置修正のしかた	
(5)斜行調整のしかた	
(6)紙折りを開始します	
(7)用紙を途中で止める場合	
(8)紙詰まりの処理	
(9)特殊な折り方（クロス折）	
(10)用紙の長さや折り寸法について	
3. 機械のお手入れ	11
4. トラブルガイド	12
(1)紙が送らない（スリップ）	
(2)用紙にシワが出る	
(3)折り位置が合わない	
(4)画用紙（但し125kg以下）が折れない	
(5)故障の場合	
5. 仕様	14

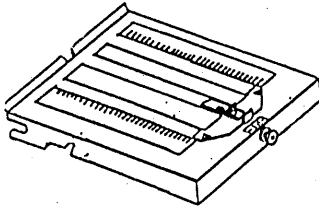
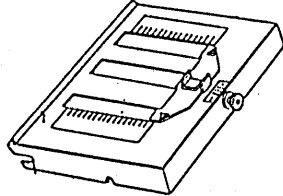
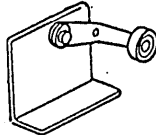
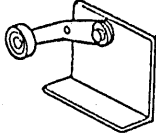
1. お使いになる前に

(1)使用方法・使用場所の注意

注 意	
	1 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
	2 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となります。

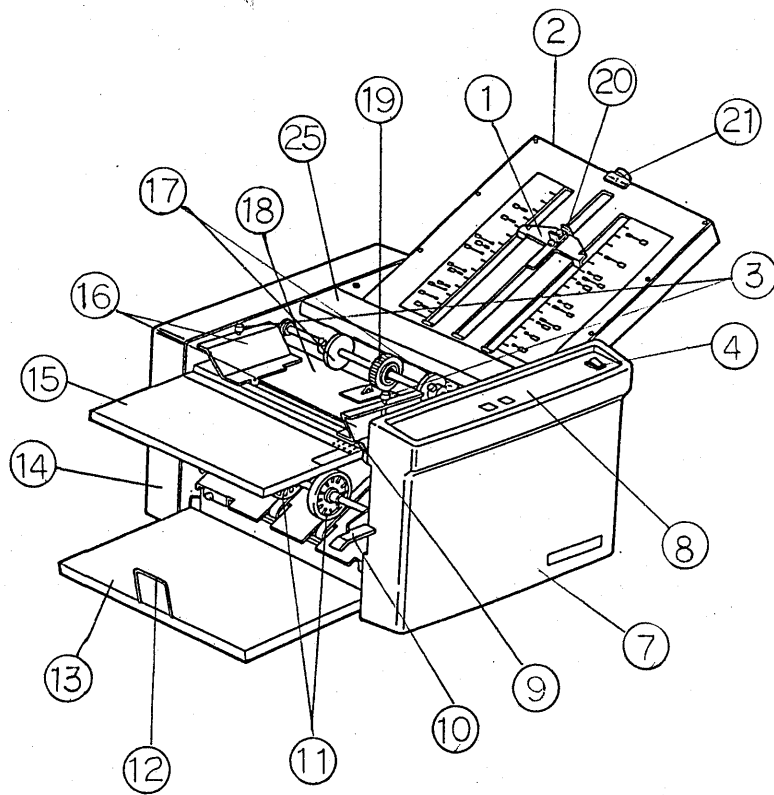
- ・直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- ・窓際はなるべくお避けください。
- ・室温は摂氏5℃～35℃の範囲でご使用ください。
- ・暖房器具に近い場所に設置しないでください。
- ・風が直接当たる場所に設置しないでください。

(2)付属品の種類・数量確認

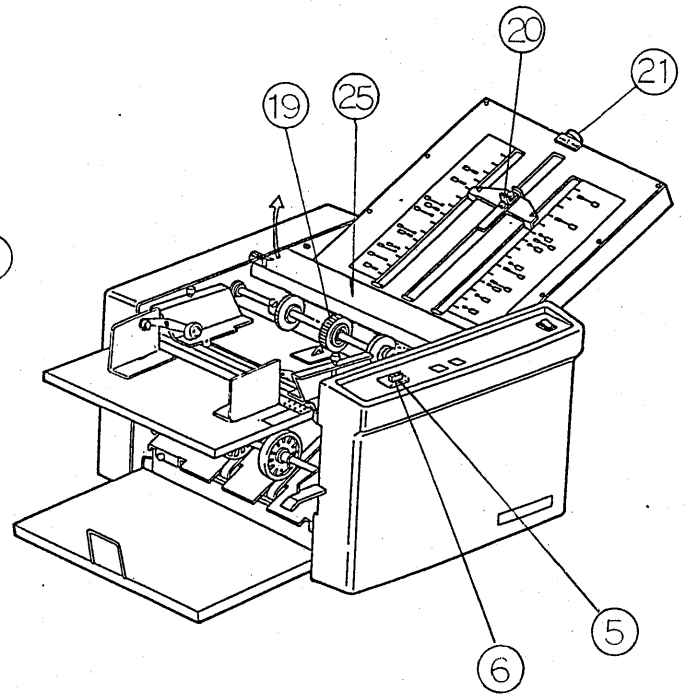
付 属 品	個数	図
1. テーブル1	1	
2. テーブル2	1	
3. 補助用紙ガイドAss'y 左 (F-30Cのみ)	1	
4. 補助用紙ガイドAss'y 右 (F-30Cのみ)	1	
5. 機械カバー	1	_____
6. 取扱説明書	1	_____
7. 保証書	1	_____

(3)各部の名称

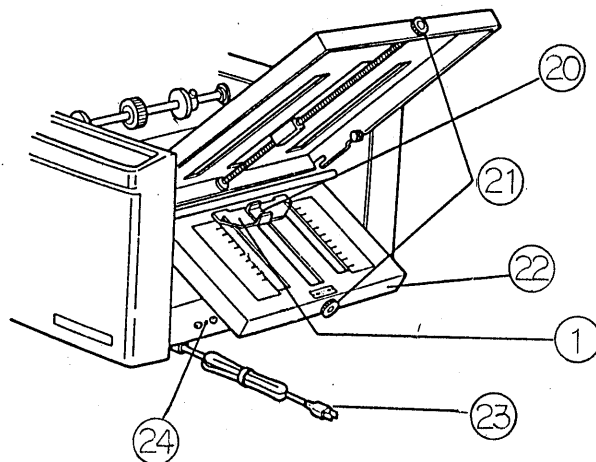
- | | | | |
|---------------|-------------|-----------|-------------|
| ① ストッパープレート | ② テーブル1 | ③ 用紙ガイドネジ | ④ 電源スイッチ |
| ⑤ カウンター | ⑥ リセットボタン | ⑦ 右化粧カバー | ⑧ 操作銘板 |
| (F-30Cのみ) | (F-30Cのみ) | | |
| ⑨ 斜行調整つまみ | ⑩ 給紙テーブルレバー | ⑪ 排紙ローラー | ⑫ 排紙ストッパー |
| ⑬ 排紙テーブル | ⑭ 左化粧カバー | ⑮ 補助テーブル | ⑯ 用紙ガイド |
| ⑰ 用紙押えローラー | ⑱ 給紙テーブル | ⑲ 給紙ローラー | ⑳ ハーフナットレバー |
| ㉑ ストッパー微調整つまみ | ㉒ テーブル2 | ㉓ 電源コード | ㉔ ストッパープレート |
| ㉕ ローラーカバー | | | |



(F-25)



(F-30C)



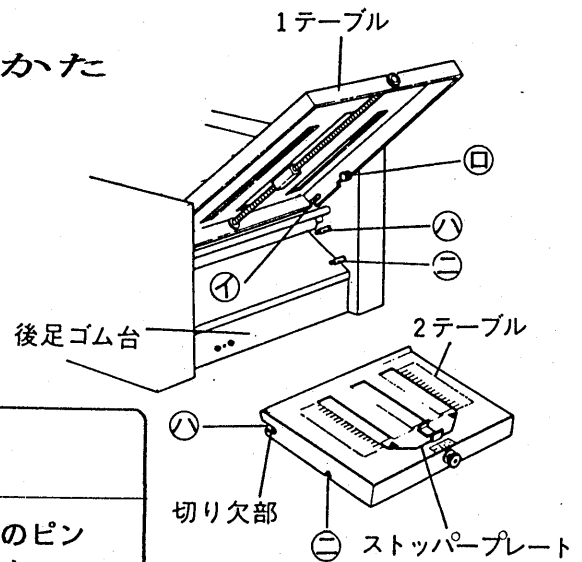
2. ご使用方法

1. 準備

(1) テーブル1・2のセットのしかた

●サイド板(右・左)にあるピン①②③④にテーブル1の①②, テーブル2の③④を合わせて取付けてください。

★テーブル1取付ける時はストッパープレートを中央にしてください。テーブルの取付けが悪いと紙折りが出来ない事があります。



⚠ 注意



テーブル1・2共ガタがなく ① ② ③ ④ のピンの位置に確実におさまっている事を確認してください。正しくセットされていしないと、紙折り不良や外れてけがの原因になります。

(2) 用紙セットのしかた

(1) 排紙テーブルを開き, 補助テーブルを持ち上げる様にセットします。

(2) 給紙テーブルレバーを上げます。

(3) 用紙ガイドを使用する用紙の目盛りに合わせます。

(4) 給紙テーブル上に印刷面を上にして用紙を積みます。

※用紙は揃えて載せてください。

※用紙は先端に軽く当てる様に載せてください。

※片袖折りの場合は印刷面を下にしてください。

(5) 用紙ガイドを用紙に軽く当てる様にして用紙ガイドネジを締めます。

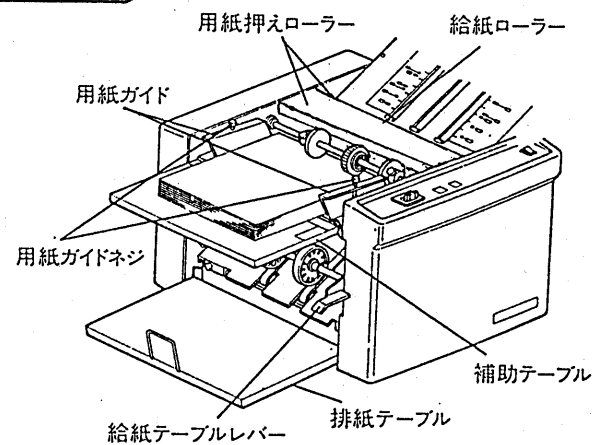
(6) 給紙テーブルレバーを下げて, 用紙をセットします。

※用紙が給紙ローラーに触れていないと給紙不良の要因になります。触れていない場合は用紙先端が前面のガイド板に接してブレーキになっている場合があるのでその時は用紙を後にずらして再セットしてください。

※用紙がカールしたり, 波をうっているとトラブルの要因になりますので, 矯正してからご使用ください。

★印刷した用紙のインクが乾かないうちに紙折りすると給紙ローラー・用紙セパレーター・折りローラー等にインクが付着し, トラブルの要因になるのでインクが乾いてから, 使用するようになしてください。

★横目の紙は紙折りが悪くなる事もありますので使用しないでください。

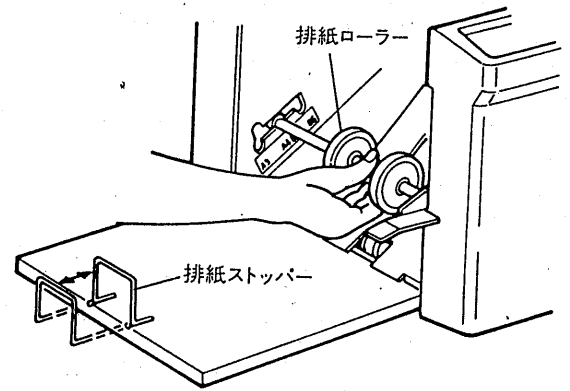


(3)排紙ローラーのセットのしかた

●排紙ローラーの位置は、使用する用紙に合わせて、サイド板左側（排紙側より見て）のプレートの位置にセットしてください。

★排紙ローラーのセットの位置を間違えますと折られた用紙がローラーに巻き付いたりしてトラブルの要因になるので注意してください。

※折り形により折られた用紙の全長が変わってきたり、温・湿度により用紙のカール状態が変わってくる為、排紙でジャムが起きた場合排紙ローラーを最適な位置に変えてください。



(4)排紙ストッパーのセットのしかた

●排紙ストッパーを持って引き出します。

※排紙ストッパーの位置は用紙サイズに合わせて、排紙された用紙がスムーズに流れる様に設定してください。

2. 操作方法

(1)電源を入れます

●電源プラグをコンセントに差し込みます。

●電源スイッチを「入」にします。モーターが回転し、折りローラー、排紙ローラーが回ります。

★作業終了後は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

警告

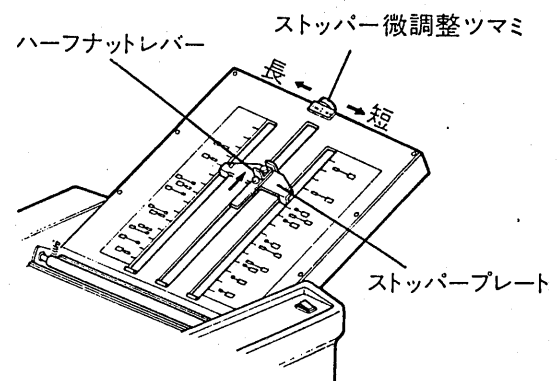


濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

(2)折り位置をセットします

●ハーフナットレバーを矢印の方向へ引張りながら、テーブル1・2の目盛りの任意の位置にストッパープレートの矢印（▽）を合わせてハーフナットレバーを離します。

※ハーフナットレバーを離すとストッパープレートは自動的にその位置でロックします。



★2つ折りの場合のみ全サイズ共テーブル1は 全サイズ
原点 の位置にセットしてください。又2つ折りでシワ及び異常な折り方が発生した場合はストッパー微調整ツマミにてストッパープレートが止まる迄先端に出してください。

(3) 試し折りをします

- 「スタート」キーを押して用紙を2枚送ったら「ストップ」キーを押して給紙を止めます。そして2枚目に折られた用紙を取り出し折り位置を確認します。
- ※折り位置がズレていたら「折り位置修正のしかた」を参考にしてください。

注意	
	ローラーなど駆動部分には絶対に手を触れないでください。けがの原因となります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらしめないでください。けがの原因となります。

(4) 折り位置修正のしかた

- 折り位置がズレた場合は下の表を参考にしてください。

ツマミ回転方向指示表 は用紙裏面を表わします。

	折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
1 テ ー ブル	紙折りの状態 (折られた長さ)	なし					
	A面が長い場合		短	短	短	短	短
	A面が短い場合		長	長	長	長	長
2 テ ー ブル	紙折りの状態 (折られた長さ)						
	B面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	B面が短い場合	長	長	長	長	長	長

※排紙の状態は操作側より見た状態を表わします。

※表中()内は折られた長さを表わし、Lは用紙の全長を表わします。

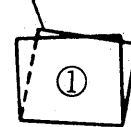
(5) 斜行調整のしかた

- 排紙された状態のまま見て下面が右へ曲がった場合は、斜行調整ツマミを1右へ、反対の場合は2左へ廻してください。
- ※2つ折り以外の場合はテーブル1で折られた面を下にして斜行調整をしてください。

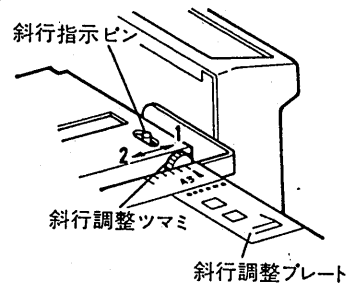
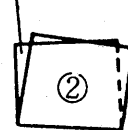
(6) 紙折りを開始します

- ①カウンターのリセットボタンを押して「0000」にします。
4桁加算式カウンター (但しF-30Cのみ)
 - ②「スタート」キーを押します。
- ※次の様な時は、給紙は自動的に止まります。
- (a)用紙がゼロになった時
 - (b)給紙ミスがあった時
 - (c)テーブル1・2内に用紙が詰まった時

2テーブルで折られた面(下面)



2テーブルで折られた面(下面)



- ※印刷した用紙のインクが乾かないうちに紙折りすると給紙ローラー・用紙セパレーター・折りローラー等にインクが付着し、トラブルの要因になるのでインクが乾いてから、使用してください。
- ※紙折り中紙詰まりや異状が発生したら直ちに電源スイッチを「切」にしてください。

(7) 用紙を途中で止める場合

- 用紙を途中で止める場合は「ストップ」キーを押します。

(8) 紙詰まりの処理

- 用紙が詰まった場合は直ちに電源スイッチを「切」にして詰まった用紙を取り除いてください。
- ローラー等に巻きついた場合は、テーブル1・2を取り外してから行うと詰まった用紙が取り出し易くなります。
- ※ローラーカバーを開けると、機械は瞬時に停止します。

(9)特殊な折り方（クロス折り）

※F-30Cは標準装備、F-25はオプション扱いになります。

※A3やB4などの大きな用紙を定形封筒に入れる大きさに折るのに便利です。

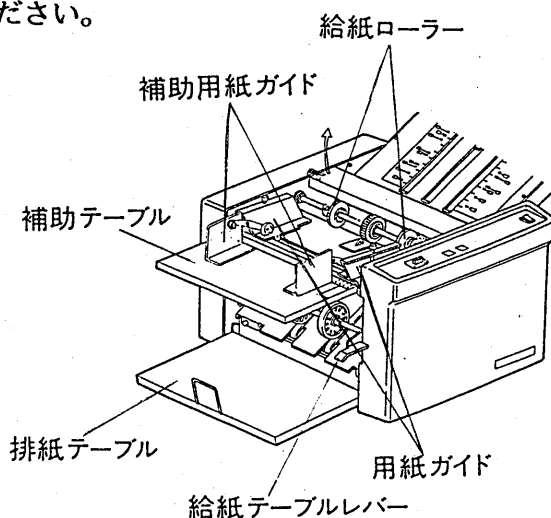
〈例〉2つ折りと4つ折りの場合（2つ折り・内3つ折り・外3つ折日も可能です）

最初に2つ折りをしてから2度目に4つ折りをするとう綺麗に折れます。

※1. 用紙の折り目は手でもう1度シグいでください。

※2. 用紙はよく揃えて給紙テーブルにセットしてください。

- ①2つ折りした用紙を給紙テーブルに載せ用紙ガイド
右左を用紙に密着させて固定します。
- ②右左に給紙ローラーのネジをプラスドライバーで緩
めて用紙の両端を押さえる位置に移動します。
- ③補助用紙ガイド右左を右図の様に置き、先端のベア
リングがふくらみを押さえる様に置きます。
※セットする時、用紙サイズシールに乗らない様に
注意してください。前に出過ぎるとピンが用紙ガ
イドに当たり給紙圧が不十分になる事があります。



- ④給紙テーブルをあげます。

※1枚目の用紙先端が給紙ローラーに触れ1cmくらい前に進むよう手で給紙ローラーを回して、
セットしてください。特にザラ紙の場合、給紙ミスが防げます。

- ⑤テーブル1・2のストッパープレートを任意の位置に設定します。
- ⑥「スタート」キーを押して折り位置を確認します。1枚折ったら直ぐ「ストップ」キーを押して
折り位置を確認します。
※微調整は微調整ツマミにて折り位置を修正します。
- ⑦折り位置確認後「スタート」キーを押すと連続折りになります。

(10)用紙の長さ と 折り寸法について

・紙折りできる用紙の最大巾は302mmです。

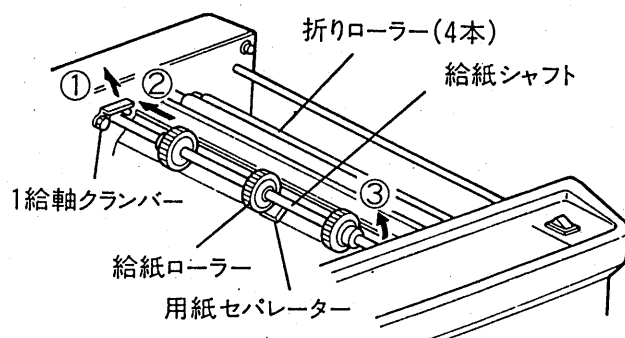
・表の中の数字は各種折り方の最大と最小の折り寸法です。

(単位 mm)

		2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
最大に 折れる寸法	テーブル1	—	108	217	320	320	320
	テーブル2	217	217	217	160	160	106
その時の用紙の全長		434	434	651	480	640	426
最小に 折れる寸法	テーブル1	—	48	48	86	86	129
	テーブル2	43	96	48	43	43	43
その時の用紙の全長		86	192	144	129	172	172

3. 機械のお手入れ

- (1)清掃をする時には必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (2)折りローラーに紙粉やホコリ等が溜まると紙折りに故障をきたすことがあるので、使用しない時は機械カバーを掛けて置いてください。
- (3)折りローラーに紙粉及び印刷物のインク等が付着しますとシワ、紙折れ等、トラブルの原因になりますので次の要領で清掃してください。
 - イ. テーブル1・2を取り外します。
 - ロ. クリーニングキットで折りローラーの表面を拭き汚れを取り除きます。



- (4)紙粉及び印刷物のインク等が給紙ローラーや用紙セパレーターに付着しますと給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップが起こり易くなるので、時々清掃してください。
 - イ. 給紙ローラーの表面をクリーニングキットで汚れを取り除いてください。
 - ロ. 右図番号順に動作して給紙シャフトは手前にずらして用紙セパレーターの清掃をしてください。
- (5)外装部の汚れ — アルコール又は清掃用クリーナーをご使用ください。溶剤系の洗浄液の使用は変色の原因になることがありますので、お避けください。

●クリーニングキット (別売) 型番 141-0070

- ・ゴムローラー清掃金具 (フェルト付) と洗浄液 (スポイト付) がセットになっています。
 - ・給紙ローラー・用紙セパレーター・折りローラー専用の清掃液キットです。
- ご使用いただきますと清掃がスピーディで手を汚すことなく簡単に汚れを落せます。そしていつまでも正確な紙送りと紙折りが維持できます。

(6)消耗品について

- ①製品に使用されている給紙ローラー、ブレーキゴム、用紙セパレーターは消耗品です。
- ②折りローラーについては、6ヶ月の限定保証とさせていただきます。

4. トラブルガイド

(1)紙が送らない (スリップ)

- | | |
|--------------------------|--|
| (イ) 印刷してすぐの用紙が張り付いていませんか | 用紙をよくサバくかインクが乾いてから紙折りしてください |
| (ロ) 用紙セパレーターが汚れていませんか | 用紙セパレーターを専用クリーナーで拭いてください
11ページ参照 |
| (ハ) 給紙ゴムローラーが汚れていませんか | 給紙ゴムローラーの紙粉や、インクを専用クリーナーで落としてください
11ページ参照 |
| (ニ) 用紙セパレーターが摩耗していませんか | 用紙セパレーターを交換してください
11ページ参照 |
| (ホ) 一給軸が確実にセットされていますか | 一給軸を一給軸クランプで確実にセットしてください
11ページ参照 |
| (ヘ) 給紙テーブル上の紙が少なくありませんか | 給紙テーブルには用紙検出レバーが取り付けがあるので用紙が少ないとスタートしません。用紙は20枚以上セットしてください |

「スタート」ボタンを押しても動かない

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| (ト) 機械内部に紙が詰まっていますか | 折りテーブルを外し機械内部の紙を取り除いてください
9ページ参照 |
|---------------------|-------------------------------------|

(2)用紙にシワが出る

(イ), (ロ), (ハ) 項と同じ内容の確認をしてください

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 折りローラー4本が汚れていませんか | 専用クリーナーで折りローラー4本を清浄してください
11ページ参照 |
| 折りテーブルのセットが正しくセットされていますか | 正しくセットし直してください
7ページ参照 |
| 折りテーブル内に紙片が詰まっていますか | 折りテーブルを外して中に詰まった紙片を取り出してください |

(3)折り位置が合わない

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| 用紙の全長が規格寸法でない | 用紙の全長を計って9ページを参考にして微調整ツマミで調整してください |
|---------------|------------------------------------|

(4)画用紙 (但し125kg以下) が折れない ※2つ折りしかできません

- | | |
|--|---|
| 折りローラー4本がインクや紙粉等で表面が汚れていませんか (スリップしやすくなっている) | 専用クリーナーで折りローラー4本の汚れを完全に落としてください
11ページ参照

※専用クリーナーは別売りで取り扱っていますので販売店でお問い合わせください |
| 室温が低くありませんか | 冬場等室温が低いと紙が固くなり紙折りが出来ない事もあるので室温を20~25℃位にした状態で紙を3~4時間放置後紙折りしてください |

(5)故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店又は当社営業担当者及び、お客様相談センターまでご連絡ください。

■お客様相談センター

フリーダイヤル



0120-077-266

取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

●故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

■株式会社ウチダテクノ

部門・部署名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	104-0033	東京都中央区新川1-10-14 ニューリバービル 2F	(03)5657-4071	(03)5657-4081
大阪	540-8520	大阪府大阪市中央区和泉町2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北1条東4-1-1 サッポロファクトリー ㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

●商品に関するお問い合わせ先

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-077-266

●クリーナー

注文番号: 1-141-0074 ゴムローラー専用クリーナー